

1枚のTPシートに必要な語を記入しておき（TP 4），更紙（マスク用）などで窓わくをつくり，映像9のように，順次単語を提示しながら，読ませたり，書かせたりするフラッシュカード的利用のしかたである。

OHPのスイッチ on, off は機器をいためるのでこのような方法を用いるが，投影されたものは，生徒の目を疲れさせるので，単語の数など投影時間を短かくする配慮が必要である。

#### (4) 展開・まとめの段階

##### ① 絵と文字の併用による check of understanding (理解の点検)

展開・まとめの段階では，次のような練習のしかたが考えられる。


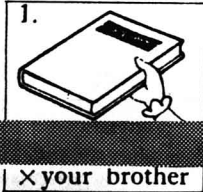
ア. 絵を指しながら後について言わせる。

イ. 内容を理解したかどうかをたしかめる英問英答

ウ. 理解の点検 (check of understanding) では，英文を聞かせてその部分を示させたり，絵の場面と異なる英文をふくめて，いくつかの文に，○，× (true-false test) などをすることも考えられる。

エ. 絵をみながら，暗唱させたり，(TP 2)，絵(TP 6)をみせて本文以外に自由に口頭作文やskitを作らせ発表させたりすることも楽しい活動になるであろう。

Lesson 14(3)の例 — TP 5 —

T	P	活 動 例
映像10 (TP 5)		T: どんな文が言えるかな P <sub>1</sub> 君。 P <sub>1</sub> : Mary has a book in her hand. T: そうですね。ノートに書いてみましょう。
映像11		T: みんなで一緒に言ってみましょう。×印があるから。 P: Your brother doesn't have a book in his hand. T: P <sub>2</sub> さん言えるかな。 P <sub>2</sub> : Your brother doesn't have a book in his hand. T: よくできました。さあ各自ノートに書いてみましょう。